

久留米大学

御井図書館ニュース

No. 48 2001年12月1日発行

本購入の勧め

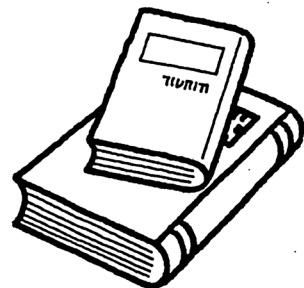
商学部長 由井 敏 範

最近の学生は本を買いたがらない。講義やゼミのテキストでさえ、図書館で借りたり、友人から借りて済ますことがある。これは好ましいことではない。必要な本はできる限り購入してほしいものである。

本を買うメリットは、まず第1に、それを所有できるところにある。所有することによって何度も読み返すことができるのである。特に私の場合、専門書を最初に読むときには、気になる箇所にチェック・マークや下線を付したり、気づいたことを書き込むことにしている。読み返すときの参考にするためである。図書館などで借りた本ではこういうことはできない。自分で所有している必要があるのである。しかも、こうした書き込みなどは、大げさにいえば自分の思想の一部である。他人に見せたくはない。やはり図書館の本ではだめなのである。同じ理由で、他人が書き込みなどをした本は読みたくない。他人の考え方の押しつけのように思われ、読むときに邪魔になるのである。

第2に、本の善し悪しの判断力が身に付くことが挙げられる。本は安くはない。特に専門書の場合には高価である。したがって経済学的に言えば、本代につかえる金額に制約がある以上、その制約下で最大限の満足を得るべく努めなければならない。しかし、これは経験の積み重ねがなければ達成できないのが普通である。タイトルだけ立派で中身の貧弱な本、定価に値しない内容の本を買って失敗を重ねることによって初めて、良い本、役に立つ本を選んで買う能力が養われるのである。自分で代価を支払って痛い目にあわなければ、こうした能力は身に付かない。

学生諸君には、できるだけ本を買って繰り返し読んでほしいと思う。但し、本を買ってしまうと、いつでも読めるという安心感から読まないことが多い。その結果、自宅の本棚や書庫は小さな図書館のようになり、いつか必要になり読むことがあるだろうという本がずらりと並ぶことになる。これは研究者の場合にはある程度必要コストと考えられるが、一般的には無駄である。したがって、本当に必要な本を購入したうえで、自分で購入できない本や雑誌は図書館を利用して読んだ方がよいといえるだろう。



「私の学生生活と図書館」

法学部4年 東 亜 希

4年間という長い大学生活の中で、私は何度大学図書館に足を運んだだろうか。図書館の利用の仕方は様々である。レポート作成の資料を探したり、専攻分野はもちろんその他のわからないことを調べたりするとき、図書館は力強い味方である。定期試験の勉強に利用するのはいうまでもない。しかしそれ以外に、何もすることがないとき、暇つぶしに図書館を訪れることもある。これまでの学生生活で、図書館を利用した回数は数え切れない。

もっとも、私はそれほど本が好きだというわけではない。むしろ本を読むのは苦手な方で、図書館から本を借りる回数はかなり少ない。私の場合本を借りても、返却期日までに読み終わらないことが多い。読み終わらずに返却するのは、何か消化不良のようで気分があまりよくない。日々の生活に追われて借りた本を読み進めることができずに、返却期日が迫ってくると、「早く読まなくては」という一種の強迫観念に駆られて落ち着かないのだ。だから私は本を借りずに、空き時間があると図書館に出向いて、書棚から本を取り出し館内で読むようにしている。そうすれば、最後まで読めなくても、続きは次の空き時間を利用して読めばよいからである。こうして返却を気にすることなく、読書を楽しむことにしている。本を読む速度の遅い私には、これが最適の読書方法なのである。

したがって、私は図書館を何度も訪れることになる。幸い私のアパートは大学に近い。必要があればすぐに図書館に出かけられる。図書館の中では、自分のお気に入りの席が、自然にできてくる。館内は広く席も多い。陽が差し込む席もあれば、物音が何も聞こえないほど静かなところもある。私は遠くの景色が眺望でき、春や秋には窓からのそよ風が頬にあたるような場所にある席の一つを、密かに自分の指定席と決めている。目が疲れたとき、遠くを眺め、木々の緑と枝葉の揺れにその時々を季節を感じながら、気分転換をする。自分専用の指定席で勉強し本を読んでいると、おもしろいほど集中でき、能率も上がる。私のお気に入りの場所は快適で居心地がよいので、その場所に座ることでリラックスし、他の場所以上に力を発揮できるのだ。

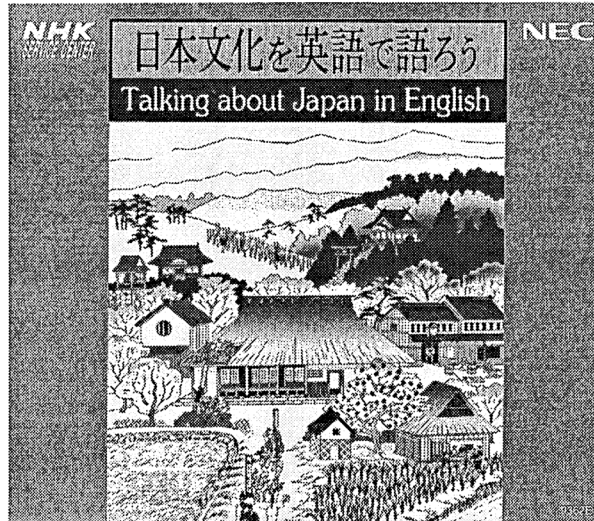
大学図書館は土・日も開館しているので、私は休日に家で退屈すると、図書館に行く。休日は館内にいる学生は少なく、平日よりもずっと静かで落ち着くことができる。図書館は私にとって、大学生活の必需品であり、どこよりも安らげる場所である。もうすぐ、私は大学を卒業する。図書館の「私の指定席」に座れなくなるのは、かぎりなく淋しい。残り少ない日々だが、できるだけ多く、私の安らぎの場所を訪れようと思っている今日この頃である。



CD-ROM の紹介

『日本文化を英語で語ろう』

発行 NHK サービスセンター・企画 TOKYO CULTURE CULB メデル株式会社



日本の今と歴史、心など1000項目にわたって日本文化を英語で知る・調べる・理解する・語るためのソフトです。図書館内で利用できますのでカウンターに申し出て下さい。

◎ Disc 1 「The Japan You See Today 現代の旅」

町並み、人間模様、食べ物、工芸品、神社、お寺、バー、歓楽街を探訪します。

◎ Disc 2 「Back In Time 歴史の旅」

奈良、京都、鎌倉、江戸を旅して、武家の起こり、忍者、城、歌舞伎や浮世絵などの庶民文化、近代化への道、現代日本の企業意識の背景を考えます。

◎ Disc 3 「Lifestyle And Aesthetics 心の旅」

現代の町と江戸時代の村落をタイム・トリップしながら、伝統的な生活様式、社会習慣、家の構造、インテリア、庭の美、茶の湯、俳句などを学びます。純日本的な葬式や結婚式に出席して、伝統作法を習います。

図版 CD-ROM「日本文化を英語で語ろう」より複写。

紹介文 URL <http://www.neic.co.jp/pc/x5PRODUCTS/language/titles/jbunka/>より引用。

寄贈図書（学内関係者）

2001/09/01～2001/11/30受入分

寄贈者氏名	著 者 名	タ イ ト ル	出 版 社
崎村 弘文	工藤真由美	「方言のアスペクト・テンス・ムード体系変化の総合的研究」	工藤真由美
図子 善信	北野弘久先生古稀記念論文集刊行会	納税者権利論の展開	勁草書房
世利 洋介	世利 洋介	現代スイス財政連邦主義	九州大学出版会
中川原徳仁	Schoeps, Hans Joachim	Aus den jahren preussischer not und erneuerung 1805-1820	Haude & Spenersche
中川原徳仁	Wiegler, Paul	Wilhelm der erste : sein leben und zeit	Avalun-Verlag
中川原徳仁	Kugler, Franz/Menzel, Adolph	Geschichte Friedrichs des Grossen	E.A. Seemann
東 孝行	東 孝行	民事訴訟法の解釈と運用	成文堂

※敬称略50音順

お知らせ

◇雑誌の利用調査を実施しています。雑誌をご利用（閲覧・コピーとも）の際には、雑誌架の利用調査票にチェック✓して下さい。ご協力をお願いします。

雑誌架

雑 誌

ABA journal : the lawyer's magazine

利用調査

1	ABA journal : the lawyer's magazine	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
---	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

ABA journal : the lawyer's magazine

利用調査票

◇図書館 3 階閲覧室にパソコンを40台設置していますので、下記の点に留意のうえご利用ください。

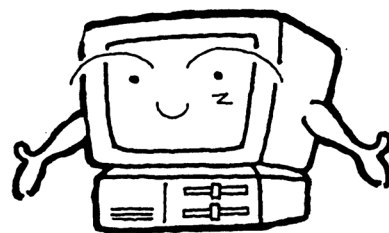
利 用 期 間：講義期間中（月一金曜日）9時から18時まで。

〈18時以降は情報教育センターを利用して下さい。〉

講義期間外（月一金曜日）9時から17時まで。

土曜日・日曜日は利用できません。

障害時連絡先：情報教育センター



2002年度新規購入・中止雑誌紹介

《新規購入雑誌》

タ イ ト ル	発行国	発行頻度
現代刑事法：その理論と実務	日 本	M
被害者学研究=Japanese journal of victimology	日 本	A
捜査研究	日 本	M
中国思想史研究（京都大学）	日 本	A
中国哲学研究（東京大学）	日 本	A
日本思想史学	日 本	A
東方学報（京都大学）	日 本	2 N
東方宗教	日 本	A
CHRONOBIOLOGY INTERNATIONAL	GBR	Q
PRODUCTION AND INVENTORY MANAGEMENT	USA	Q
QUALITY MANAGEMENT JOURNAL	USA	Q
QUALITY PROGRESS	USA	M
ANNALES DE BOURGOGNE: REVUE HISTORIQUE TRIMESTRIELLE	FRA	Q
CHARCH HISTORY	USA	Q
JOURNAL OF EAST ASIAN LINGUISTICS	NDL	Q
JOURNAL OF MEDIEVAL AND EARLY MODERN STUDIES	USA	3 N
LITERATURE AND THEOLOGY	GBR	Q
RELIGION AND LITERATURE	USA	3 N
SACRIS ERUDIRI: JAARBOEK VOOR GODSDIENSTWETENSCHAPPEN	BEL	A
SYNTAX: A JOURNAL OF THEORETICAL, EXPERIENTAL AND...	GBR	Q

《中止雑誌》

タ イ ト ル	発行国	中止理由
亜洲週刊		休刊
BIT: コンピュータ・サイエンス誌		休刊
BIT.別冊: コンピュータ・サイエンス誌		休刊
Fukuoka Style		休刊
法学論叢（京都大学）		寄贈にて受入れ
研究開発マネジメント		休刊
スポーツと健康		休刊
通産きゅうしゅう（環：九州経済産業局広報誌=Kyushu asia network）		休刊
ENTSCHEIDUNGEN DES BUNDESGERICHTSHOFES IN ZIVILSACHEN	DEU	希望
JOURNAL OF ANTHROPOLOGICAL ARCHAEOLOGY	USA	希望
SOCIAL PSYCHIATRY AND PSYCHIATRIC EPIDEMIOLOGY	DEU	希望

《タイトル変更》

旧 タ イ ト ル		新 タ イ ト ル
エコ・ロージャーナル	→	世界環境規制ニュース
時事英語研究	→	時事英語=Current English
社会政策学会年報	→	社会政策学会誌
通産ジャーナル	→	経済産業ジャーナル
日経ヘルスケア	→	日経ヘルスケア21
文研論集	→	生命保険論集
文部時報	→	文部科学時報
警察公論	→	keisatsu koron
週刊読売	→	Yomiuri weekly
ビジネス実務法務	→	ビジネス法務
通産統計	→	経済産業統計
経済統計研究	→	経済統計研究資料
日経マルチメディア	→	日経ネットビジネス

図書館利用状況（2001年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
開館日数		27	28	30	30	30	28	30	203
入館者数	前年同期比	1,418	2,199	210	2,517	352	722	3,406	10,824
	学内者	17,807	25,338	25,382	41,139	10,469	15,905	24,245	160,285
	前年同期比	-7	18	-27	-20	-84	-37	-8	-165
	学外者	81	103	88	95	82	75	73	597
地域住民登録者数	前年同期比	-11	9	-11	6	-3	1	5	-4
		31	20	13	20	14	14	12	124
貸出冊数 (学生)	前年同期比	190	411	167	-29	23	160	469	1,391
	全体	1,128	2,443	2,439	5,162	1,077	1,452	2,240	15,941
	前年同期比	0	77	6	-24	6	-35	50	80
	内、夜間	216	486	545	959	34	165	501	2,906
	前年同期比	19	33	58	-71	18	39	26	122
	内、土・日曜	65	157	166	451	121	127	153	1,240
貸出冊数 (教職員)	前年同期比	80	-55	20	14	20	-57	-101	-79
	全体	301	183	216	277	180	173	197	1,527
	前年同期比	56	-20	11	-33	-9	0	-75	-70
	内、夜間	104	57	66	67	3	40	64	401
	前年同期比	-23	2	-11	-26	-2	-12	-6	-78
	内、土・日曜	5	6	5	34	13	17	12	92
貸出冊数 (その他学外者)	前年同期比	1	23	6	-10	-28	-37	35	-10
	全体	51	92	84	16	77	72	98	490
	前年同期比	5	23	-9	3	3	-19	10	16
	内、夜間	10	36	24	8	5	0	23	106
	前年同期比	-24	17	3	-15	-14	-6	9	-30
	内、土・日曜	5	38	36	0	29	33	43	184
AVライブラリー 利用件数	前年同期比	-17	-5	-5	1	-3	0	7	-22
	学生	7	11	8	8	2	5	15	56
	前年同期比	-1	25	-4	1	0	-2	8	27
	教職員	4	28	7	3	0	4	8	54
	前年同期比	0	0	-10	0	-2	1	0	-11
	その他学外者	0	0	0	0	0	1	0	1
相互利用 (文献複写) 申込件数	前年同期比	-15	25	-37	14	36	11	3	37
	学生	11	83	28	55	68	31	45	321
	前年同期比	2	28	-2	7	17	50	19	121
	教職員	37	34	9	21	64	67	24	256
	前年同期比	1	1	0	0	0	0	0	2
	その他学外者	1	1	0	0	0	0	0	2
相互利用 (現物貸借) 申込件数	前年同期比	-1	-3	-7	6	0	11	11	17
	学生	3	10	2	6	6	16	19	62
	前年同期比	6	9	1	-1	1	8	-8	16
	教職員	7	12	6	3	15	19	6	68
	前年同期比	0	0	-3	0	0	0	0	-3
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0

〈貸出冊数についての注記〉

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. “夜間”とは、17:00～20:00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日～4月11日、8月1日～9月12日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民への貸出は、7月4日～7月31日の期間は停止している。

編集・発行 久留米大学御井図書館
〒839-8502 久留米市御井町1635
TEL (0942) 44-4015
FAX (0942) 43-0348
<http://lib.mii.kurume-u.ac.jp/>